

学校経営方針（中期経営目標）		前年度の成果と課題		本年度学校経営の重点（短期経営目標）	
花ノ木医療福祉センターに入所している児童生徒を教育する学校であるという分校の性格及び特別支援教育の考え方を踏まえ 1 学校経営計画に基づく計画的・組織的・効率的経営を推進する。 2 一人一人の教育的ニーズに応じた指導を推進する。 3 安全・安心の教育活動を推進する。 4 花ノ木医療福祉センター等関係する諸機関と円滑な連携を図る。		成果 1 保護者及び花ノ木医療福祉センターと連携し、日々の取組を大切にしながら円滑な学校運営が推進できた。 2 児童生徒の実態を把握した目標設定と指導を進めることができた。 課題 1 個に応じた指導の充実と教育課程の工夫・改善を図る。 2 家族や花ノ木医療福祉センター及び地域との連携を更に深める。		1 個別の指導計画に基づき、個に応じた指導を進める。 2 関係する諸機関と密接な連携をした教育的支援を進める。 3 健康と安全に留意した教育活動を進めるとともに、いざという時に対応できるための危機管理体制により一層の充実に努める。 4 特別支援教育を推進する教職員の専門性の向上を高め、個に応じた授業改善を行う。	
評価領域	重点目標	具体的方策		評価	成果と課題
運営会議	組織・運営	・ 計画的・効率的・組織的な運営を行う。 ・ 花ノ木医療福祉センターと連携を深め円滑で機能的な運営をする。		B	・ 少人数校としての利点を生かしより効果的効率的な運営ができた。 ・ 花ノ木医療福祉センターとは定期的に会議を開き連携を進めることができた。 ・ 学校関係者評価委員会を開催し、外部評価を受け改善に努めた。
	学校評価	・ 広報活動に取り組み開かれた分校づくりを進める。		B	
教務部	連絡調整機能	・ 各分掌との連携・調整を図ることにより機能的な学校組織を確立する。		B	・ 会議設定の調整・改善により、計画的な会議や行事設定をした。 ・ 会議・出張等の早期の把握に努め、教育課程が円滑に進むように調整・変更等を行った。 ・ 就学相談では花ノ木医療福祉センターと連携を密に図り、保護者に年間の予定を示しながら進めることができた。
	関係機関と連携	・ 保護者や花ノ木医療福祉センターと連携し教育実践を進める。		B	
研究部	研究・研修	・ 分校の課題に応じた研究・研修の充実により専門性・指導力を高める。		B	・ 今年度の研究テーマに基づき外部講師を招き校内研修会に取り組んだ。 ・ 亀岡分校各職員が、夏季休業中を中心に多様な研究会に参加して学び、学んだことを実践に反映させた。 ・ 個別の指導計画・教育支援計画を作成し、実践を行い、毎学期末のまとめ研で検証し改善に取り組んできた。
	学習指導及び日常生活指導	・ 校内研究のテーマを設定し、テーマに基づいた授業研・校内研究・研修会を計画する。 ・ 各種研究会への積極的に参加し研修内容を全体へ還元する。		B	
		・ 個別の指導計画・教育支援計画の作成・実践・評価・目標と指導方法の再検討をする。 ・ 個別の指導計画・教育支援計画が日常指導と結びついた様式の検討及び評価の2期制の検討を行う。		B	
保健部	保健安全教育	・ 安全・安心な教育活動を行うため、日常的な健康管理と健康の保持増進に努める。 ・ 緊急時の訓練を関係機関と連携し実施する。 ・ 日々健康観察を行い、児童の身体状況等を担当者間で情報共有し児童の体調に合わせた指導を行う。		B	・ 救急訓練の想定に関しては、花ノ木医療福祉センターからの助言を受け、児童の実態に沿った訓練ができた。 ・ 日常的な病棟との連携や連絡会を通じて、児童の身体状況など情報交換し取り組んだ。 ・ 行事や交流会など、大勢の人が来校する場合には、手指消毒やマスクの着用を呼びかけ感染予防に努めた。
	健康管理	・ 医療的ケアを安全に実施する。 ・ 健康と安全に留意した指導を推進する。		B	
		・ 校内の衛生管理の徹底及び教職員の感染予防対策を行う。 ・ 行事・交流会等校外からの感染予防対策を行う。		B	
学校関係者評価委員会による評価	・ 医療的ケアを含め、安全・安心な学校体制づくりと、保護者及び関係機関と連携した教育活動の充実を引き続きお願いしたい。 ・ 花ノ木医療福祉センターに入所している児童が、楽しく登校できているのでよい。 ・ 授業が季節により工夫されている。				
次年度への改善の方向性	・ 学校経営計画に基づく計画的・組織的・効率的な経営を更に進める。 ・ 保護者及び児童の教育的ニーズに応えるよう教育課程の工夫・改善を行う。 ・ 引き続き分校の情報発信に努める。				